

1. 特定本邦航空運送事業者（※）に関する航空輸送サービスに係る情報公開（平成30年1～3月）のポイント

※特定本邦事業者

- 日本航空：JAL（日本航空、ジェイエア、北海道エアシステム）
- 全日本空輸：ANA（全日本空輸、ANAウイングス）
- 日本トランスオーシャン航空：JTA
- スカイマーク：SKY
- AIRDO：ADO
- ラジエール：SNJ
- スターフライヤー：SFJ
- Peach Aviation：APJ
- ジェットスター・ジャパン：JJP
- パナシエール：VNL
- 春秋航空日本：SJO
- エアアジア・ジャパン：WAJ

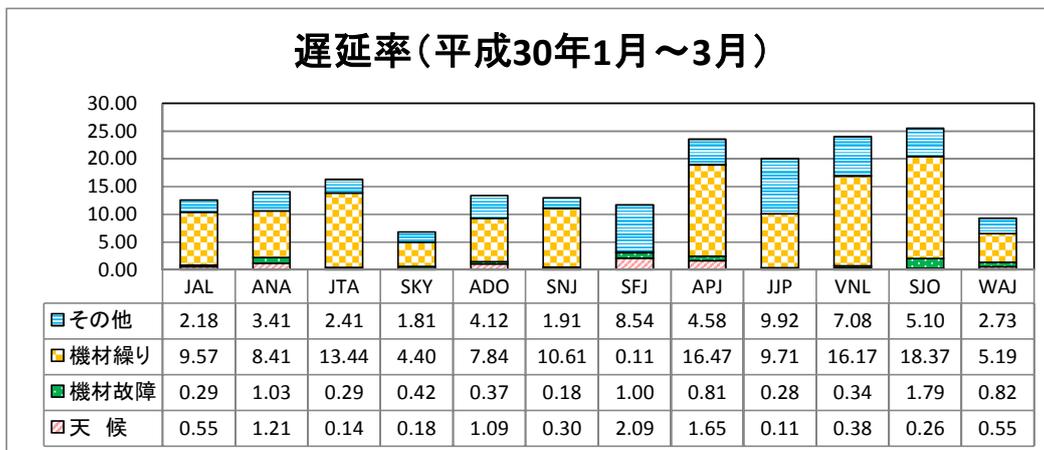
※北海道エアシステムは平成28年10月30日から日本航空及びジェイエアとの共同引受を開始
 ※エアアジア・ジャパンは平成29年10月29日より運航を開始

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

(1) 遅延率（平成30年1月～3月）

当期実績	前年度同期実績	前年度同期との比較
13.73%	11.41%	2.32ポイント上昇

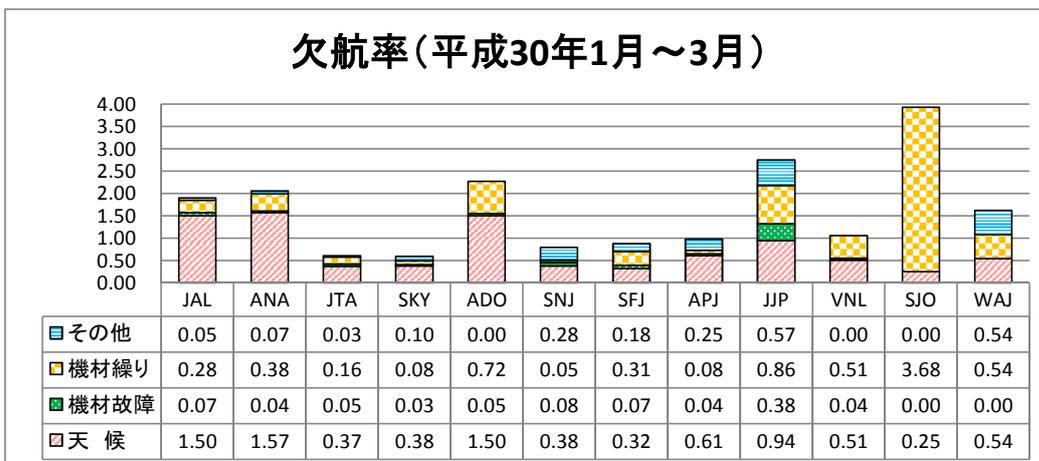
※「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

(2) 欠航率（平成30年1月～3月）

当期実績	前年度同期実績	前年度同期との比較
1.78%	1.16%	0.62ポイント上昇



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績（平成30年1月～3月）

項目	当期実績	前年度同期実績	前年度同期との比較
平均搭乗区間距離	942km	926km	1.73%増
輸送人員	2370万6811人	2326万2449人	1.91%増
輸送人キロ	223億2299万人km	215億3343万人km	3.67%増
旅客収入	3257億39百万円	3186億79百万円	2.22%増
輸送人員あたり 旅客収入	13.7千円	13.7千円	-
輸送人キロあたり 旅客収入	14.6円	14.8円	1.35%減

(2) 路線別データ（平成30年1月～3月）

①旅客数

上位5路線は次のとおり。

	当期実績	前年度同期実績
1位 東京＝札幌	220万729人	(217万4616人)
2位 東京＝福岡	210万3810人	(209万9056人)
3位 東京＝那覇	140万3659人	(136万9997人)
4位 東京＝大阪	134万9392人	(132万3336人)
5位 東京＝鹿児島	58万8811人	(57万4102人)
全路線	2338万7425人	(2297万4074人)

②利用率

上位5路線は次のとおり。

1位 関西＝新潟	91.2% (-)
2位 成田＝関西	89.7% (84.4%)
3位 関西＝宮崎	89.3% (89.6%)
4位 成田＝熊本	88.2% (83.9%)
5位 関西＝鹿児島	88.1% (88.3%)
全路線	71.8% (70.7%)

下位5路線は次のとおり。

1位 宮古＝石垣	30.9% (29.7%)
2位 札幌＝稚内	35.6% (33.9%)
3位 札幌＝秋田	39.0% (37.1%)
4位 札幌＝富山	40.8% (38.2%)
5位 中部＝新潟	41.4% (40.6%)
全路線	71.8% (70.7%)

3. フレックストラベラー制度（※）に関する情報

平成30年1～3月における、フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合（1万人あたり）が高かった特定本邦上位3社は次のとおり。

（※）オーバーセールズ（提供座席数を上回る予約客を受け付けること）の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 (1万人あたり)	
		当期実績	前期実績
①	AIRDO	3.03人	0.68人
②	全日本空輸	1.11人	0.99人
③	ソラシドエア	1.00人	2.08人
	全社平均	0.99人	0.98人

※今回の公開項目の詳細、及び過去の公開資料につきましては、国土交通省のホームページ上にてご確認頂けます。

(URL)http://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000727.html